



おおぞらだより

第10号
平成25年 1月 31 日発行
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
おおぞらのいえ
〒651-2181
神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727 (代)
FAX (078) 925-9253



子ども達の作品です☆

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は児童福祉法の改正があり、あわただしく駆け抜けていた年でしたが、皆様にはどのような年だったでしょうか。私も、昨年を振り返りながら、新たに今年の課題を整理しているところです。

さて、今年1番の行事は、何と言つても1月2日に六甲山人エスキー場に行ったことです。昨年は前日まで好天だったので、当日雪が降り立ち往生している車もあると聞き断念しました。今年はどうなるだろうかと思つていきましたところ、皆の願いが届いて無事に行くことができました。初めて見る雪に不思議そうな顔をしている子、ソリすべりを恐がり、他の子が滑るのを見てから怖々滑る子（でも1回滑ると「もう1回行か！」）、初めての雪合戦に興じる子、レストランでの食事が楽しい子、車での移動中に路面の関係で揺れると不安になるのか「課長さん、運転へたくそ！」と言つてくる子等、普段見ることのできない子ども達の様子が伺えました。来年もまた行こうね！こんなふうに始まったおおぞらのいえですが、今年は昨年度の事業を継続しながらも、①障害児入所施設では、退所する時に入所マニュアルを完成すること②児童発達支援事業では、修了した児童のフォローアップをおこなうこと③安定した経営基盤を確立すること、の3点について、特に力を入れていきたいと考えています。

皆様におかれましても、今年1年、子ども達がどんな物語を紡いでいくのかを暖かい目で見守っていただきますよう、お願い申し上げます。



新年のご挨拶

障害児入所施設 おおぞらのいえ
療育指導課長 橋田 浩

『外出活動について』

支援員 熊原 知子

1月22日に新春行事として、六甲山へ雪遊びに行きました。昨年も六甲山へ行く予定でしたが、あいにくの天候で中止となってしまつたので、「今年は…」と職員も子ども達も意気込んでいました。当日の天気は良く、六甲山に行けないと分かると「やったー」と満面の笑みで喜んでいました。

六甲山人工スキー場に到着すると「みんな所だらうー」と少し不安そうにしていましたが、一面の雪景色を見ると不安な気持ちも吹き飛び、すぐに「早く遊ぼうー」と言っていました。丘の上まで子ども達と上がる事は一苦労でしたが、子ども達はそんな事はおかまいなしで、滑り終わったりすぐに「もう一回滑ろうー」と職員を誘い何度も滑っていました。満足行くまでソリ遊びをした後は、みんなで雪合戦や雪だるまを作つて遊びました。

楽しく遊んだ後は昼食です。レストランで自分達の好きなメニューを選び、食券を購入しました。みんなでわいわいと食べご飯は格別美味しい物でした。

帰りの車内では、「来年はどうに行こうか?」とみんなで話しながら帰りました。今後も子ども達が楽しめるような外出活動を行っていきたいと思います。



『おおぞらのいえ交流クリスマス会』

支援員 藤本 悅子

去る平成24年12月25日に、児童発達支援事業所では『第1回おおぞらのいえ交流クリスマス会』が実施されました。

ことの発端は、おおぞらのいえ児童発達支援事業所（旧児童デイ）修了児の保護者の方々より「自分達は就園・就学時に色々な悩みを持つていた。しかし、今は楽しく学校生活を送ることができている。その経験を活かして、これから就園・就学するお子さんや保護者の方々の力になりたい。」というお申し出がありました。

当日は、利用児・修了児合わせて18組のご家族、10兄弟が出席されました。また、4名の旧職員も出席して会を盛り上げてくれました。みんなでクリスマスソングを歌つたり、サンタが登場しておやつを配つてくれることもありました。

保護者交流会では、修了児の保護者の方のこれまでの葛藤や体験談を聞き、それに対して就園・就学に向けての悩み、保護者の方の就労について、子ども達の発達状況についてなど様々な質問がありました。子ども達も懐かしいお友達に会ってたくさんお話しして、一緒に楽しむおやつを食べたり、アンパンマンのクリスマスDVDを見て同窓会も満喫。あっと言う間に予定していた2時間は過ぎて、大人も子どもも少し物足りないくらいでした。

就園・就学については、市によつて制度の名称や対応が異なり、サービス提供時間後の短い時間では全てを網羅することができないなど、懇談会の実施方法について課題はこれからも山積みです。今回の保護者の方のお申し出を無駄にしないよう、よりよい事業運営と今後の交流会の継続を目指して行きたいと思います。



『リハビリスポーツ祭』

支援員 松本 優紀

昨年10月、障害者スポーツ交流館で開催された『リハビリスポーツ祭』に初めて参加しました。開会式では選手宣誓を任せられ、競技ではスラロームやピーンバック投げ、50M走、リレーといった種目にチャレンジしました。競技の合間に他施設の利用者さんの競技風景を見て「すごい!」と歓声をあげている子もいれば「どうやったらあんなふうにできるかな。」と色々考えていたりの子もいました。この日は、様々な方とふれあうことができ、子どもたちにとって、とてもいい刺激になったと思います。今年のリハビリスポーツ祭では、より成長した子どもたちの姿を皆さんに披露できたりなど思っています。



小林謙一様より、『車椅子』と『養護椅子』をご寄贈いただきました。車椅子は、子どもたち自身の車椅子が壊れたり、修理等で使用できない際に使わせていただいています。車椅子がないと子どもたちは大変不便な思いをするのですが、「ご寄贈いただいた車椅子が大活躍をしてくれるため、そういう思いをすることなく毎日元気一杯に過ごすことができています。養護椅子は椅子座位ができる子どもたちの洗面や食事の際に毎日使わせていただいています。高さ調節ができるため、子どもたちの成長に合わせ長く大事に使わせていただきたいと思っています。本当にありがとうございました。」



『ご寄贈のお礼』

編集後記



新年度を迎え、新たなメンバーが加わりましたので、紹介いたします。
気分新たに、職員一同、力を合わせて頑張ります。

切通 浩子

「おおぞらだより」も今回で第10号となりました。振り返ってみるとあつという間でしたが、子どもたちは心も体も大きく成長しています。日々の生活中で、子どもたちの未来に向かって一緒に笑い、一緒に悩み、一緒に見つけていきながら職員も成長していきたいと思います。これからも皆様に子どもたちの笑顔や成長の姿をお届けできるよう、努力して参りますので、次回の「おおぞらだより」もお楽しみにご期待下さい。